いこう！その先へ
SINCE 1872 150
Sannichi YBS Group
山梨日日新聞社
150周年記念企画
企画・制作
山梨日日新聞社広告局

厚切りジェイソンが行く！
# WHY!? 山梨の○○

**駿台甲府高校 普通科**
甲府市塩部2丁目8-1
TEL 055-253-6211

**駿台甲府高校 美術デザイン科**
甲府市上今井町1279-2
TEL 055-241-5311

お笑い芸人であり、IT企業役員としても活躍する厚切りジェイソンさんが、山梨の企業、学校などを訪問し、知られざる「WHY!?」を探る山梨日日新聞創刊150年記念企画「厚切りジェイソンが行く！ WHY!? 山梨の○○」。第2回は、ジェイソンさんが駿台甲府高校普通科と美術デザイン科（美デ科）を訪問し、共に生徒会長の普通科2年藤谷琴乃さん、美デ科2年角田響さんと対談した。ジェイソンさんは、「愛情教育」を掲げ生徒第一の教育を実践する両学科の魅力を独自の視点で取材し、数々の「WHY!?」をひも解いた。

## AI教材で苦手を克服!? 美術学科は県内唯一!? 生徒に寄り添う「愛情教育」

# 駿台甲府高校普通科・美デ科編

## 普通科
General Course

敷地内は全エリアで Wi-Fi 完備。グラウンドでもタブレット端末で自習ができる

**ジェイソンさん**　きれいな教室、廊下、グラウンド…。すごく設備が整っているね。勉強がはかどりそう！

**藤谷さん**　勉強はもちろんですし、スポーツや部活動など、生徒それぞれが目標に向かって打ち込める環境だと思います。

**ジェイソンさん**　いいですね！ どんな学校なんですか？

**藤谷さん**　先生の授業は分かりやすいですし、自習のための環境も整っています。1人1台タブレット端末が支給されているんですが、敷地内どこでもWi-Fiにつながるので、やろうと思えばグラウンドや食堂でも勉強できますよ（笑）。

**ジェイソンさん**　WHY!? グラウンドでも!?

**藤谷さん**　やったことはないですが（笑）。ただできるだけじゃなくて、駿台サテネットとかatama+（アタマプラス）とか、駿台グループの学校ならではの学習ツールが充実しているのも魅力です。

**ジェイソンさん**　サタデーナイト!? 何ですかそれは？

**藤谷さん**　サテネットです（笑）。駿台予備学校の授業動画約300本を無料で視聴できます。

**ジェイソンさん**　WHY!? 300!? 多くない？

**藤谷さん**　全部ではなくて、自分で選んで見ています。授業で学習したところを復習できたり、自分のやりたい分野の勉強を深められたりするのが便利です。

**ジェイソンさん**　広い選択肢から自分に合わせた内容を選べるのはいいね！ atama+はどうでしょう？

2025年1月から大学入学共通テストに追加される「情報」の授業を視察。情報専門の教員が指導している

**藤谷さん**　atama+で課題を解くと、AI（人工知能）が分析して、自分では分からないような苦手の根っこを教えてくれます。私はよく物理の課題をやるのですが、物理の苦手の根っこが「実は数学の分野の理解が足りてないからだ」ってAIの指摘で初めて気付きました。

**ジェイソンさん**　AIやるやん！

**藤谷さん**　苦手が分かると先生に聞くのもスムーズになります。先生に相談がしやすいのもこの学校の魅力だと思っていて、職員室にある自習ブースはいつも生徒でいっぱいなんですよ。

**ジェイソンさん**　そうなんだ！ この対談場所（進路指導室）も、本がたくさんあってすごいですね。

**藤谷さん**　大学入試の過去問や解説をまとめた「青本」や「赤本」、駿台文庫の参考書などがそろっていて、自由に使えます。ここに来るといつも周りに頑張っている人がいるので、モチベーションが上がります（笑）。

自由に使える進路指導室。参考書だけでなく、パンフレットや大学案内も充実している

**ジェイソンさん**　いい環境だね！ 藤谷さんが思う学校の一番の魅力は何ですか？

**藤谷さん**　やっぱり、一人一人がやりたいことを選べるのが、一番の魅力だと思います。研修旅行（修学旅行）も決まった行き先ではなくて、北海道や関西など、それぞれの興味に合わせて選べます。コロナ禍以前は、海外からも選べたんですよ。

**ジェイソンさん**　WHY!? 行き先選べるの!?

**藤谷さん**　隔週土曜日にある「探究活動」でも、個人の興味に合わせてテーマが選べます。探究活動は、話し合いで答えを出すような内容で、ディベートの練習になったり、多様な考え方への理解が深まったり、黒板に向かう授業とは違う学びがあって面白いです。

**ジェイソンさん**　自分の興味に合わせたことなら、勉強だってがぜんやる気が出るよね！ 一人一人の意思を尊重している学校だと伝わってきたよ！

## 美術デザイン科
Art & Design Course

リニューアルされたアトリエと角田さんの作品。アトリエでは生徒が日々作品づくりにいそしむ

**ジェイソンさん**　角田さんはなぜ美術デザイン科を選んだんですか？ WHY!?

**角田さん**　中学の頃から美術の先生に憧れていて、夢への近道になると思って選びました。美デ科は山梨県で唯一の美術に特化した学科なんです。

**ジェイソンさん**　WHY!? 唯一なの!? 普通の学校とは何が違うんですか？

**角田さん**　まず、とにかく美術好きな人が集まるので、話が合う友人ができます（笑）。先輩、後輩との距離も近いので、教わったり、教えたりという機会もたくさんあって、教員を志す自分には、すごくいい環境です。

**ジェイソンさん**　いいね！ 授業はどうでしょう？

**角田さん**　美術が全体の3分の1を占めていて、いつも何かを創作しています。絵画、デッサン、デジタル、アクリルなど、たくさんの画材に触れる機会があって、デジタルアートではこんなものも作れるようになりました（ジェイソンさんの顔を模した作品を見せる。写真左下のパソコン画面内）。

学園祭シーズンは、生徒が校舎内を装飾する。「昭和レトロ」をイメージした展示にジェイソンさんも興味津々

**ジェイソンさん**　え!? 僕じゃん!? どうやったんですか？ WHY!?

**角田さん**　写真をベースにして線をなぞって、そこからさらに色分けをして…という感じで制作しました。

**ジェイソンさん**　うれしいですね。ありがとう！ 機材も特別なんですか？

**角田さん**　プロが仕事で使うような機材とソフトが自由に使えます。デザイン関係の仕事をする上で欠かせないスキルが、授業を通じて基礎からしっかり身に付いている感覚がありますね。

**ジェイソンさん**　実用性が高くて、社会で役立つ経験ができるのはすごくいいね！

**角田さん**　経験という話だと、展覧会に応募できる機会が多いのも魅力です。

**ジェイソンさん**　展覧会！ どんなものがあるの？

**角田さん**　代表的なのは年に1度、県立美術館で開かれる美術デザイン科展です。授業や課外、自主製作など生徒の作品が80点ぐらい出展されて、毎年2千人近くが来場します。

**ジェイソンさん**　立派な集客力！ すごい数字ですよ！

**角田さん**　やっぱり美術って人に見てもらってこそ価値が生まれると思うので、たくさんの人に見てもらえる機会があって、批評も受けられるのはすごく恵まれていると感じます。美術教員も5人いるんですよ。

**ジェイソンさん**　WHY!? 多すぎない!?

**角田さん**　それぞれの経験から視点の違うアドバイスをくれるので、成長できます。5人からダメ出しされると、結構辛いですが（笑）。

**ジェイソンさん**　でも、たくさんの意見を聞けるのはいいね！ 芸人にも共通するけど、作品やネタが本当に良いか悪いかは、人に見せてみないと分からないからね。

**角田さん**　ほかにも、たくさんの画材がストックされていたり、放課後も自由に使えるアトリエがあったり、すごく創作環境が整っています。アトリエは今年改装されたばかりなんですよ。

**ジェイソンさん**　見学したけどきれいだったね！ やっぱり気持ちがいいですか？

**角田さん**　きれいすぎて汚さないように緊張しますが、やっぱり気持ちいいですし、やる気も出ますね（笑）。

**ジェイソンさん**　授業も設備も美術に特化しているのが伝わってくるね。うらやましい環境だよ！

美デ科生の作品で装飾されたバス停。作品は毎年作り直していて、駿台甲府小児童らの目を楽しませている

## 編集後記
ジェイソンの目

ATSUGIRI JASON's EYE

普通科は、生徒が自分のやりたいことに合わせて、どんな勉強を重点的にするかなどを選べること、そのための環境がしっかり整っていることが特に魅力的だと思ったよ。AIが苦手を分析してくれる「atama+」もいいね！ 自主学習に役立つだけじゃなくて、生徒が先生に質問しやすくなったり、先生が教えやすくなったりすることにもつながりそう。美デ科は、専門的に学びたいことがある生徒のための工夫がたくさんあって、すごくいいと思った。美術の先生が5人いたり、プロ仕様の機材がそろっていたり、ここにしかない強みを明確に感じたね。僕の長女は絵が好きなんだけど、もし近くに住んでいたら進学先の候補にしたかったくらいだよ（笑）。

<厚切りジェイソン氏　プロフィール>　お笑いタレント兼テラスカイグローバルアライアンス部長。1986年生まれ、アメリカ・ミシガン州出身。飛び級でミシガン州立大学入学の後、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校へ進み、エンジニアリング学部コンピューターサイエンス学科修士課程修了。米GEヘルスケア、米国企業の日本法人支社長等を経て、2012年にテラスカイ入社。14年にお笑いタレントとしてデビューし、多くのテレビやラジオ番組、CM、舞台などで、幅広く活躍。書籍も多数手掛け、昨年11月に出版した「ジェイソン流お金の増やし方」（ぴあ）は50万部（電子書籍含む）を突破し、今年上半期のベストセラー1位を獲得した。